

普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート

令和7年度版(令和6年度実績)

【R2地方創生推進交付金・第57回地域再生計画】

No.	事業名	担当課名
①	多様なワークスタイルの実現による移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業	政策推進室

## 1. 取り組みの概要 (Plan)

事業名	① 多様なワークスタイルの実現による移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業 (R2 地方創生推進交付金・第57回地域再生計画)						担当課名	政策推進室			
基本目標	基本目標4 地域への新しい人の流れをつくる										
施策	施策1 地域への移住者受入体制の推進										
目的	地域資源を生かした仕事や暮らしの創出による移住者の誘致と、子育て支援をはじめとする定着のための支援を総合的に展開し、都市部から村への人の流れを確かなものとし、持続可能な普代村の実現を目指すことを目的とします。										
概要	村内に地域資源を生かした「仕事」や「仕事の場所」を創出し、人と企業・企業人の誘致を図っていきます。また、誘致した人材等が村内に定着するための伴走支援を行うとともに、こうした取組全体を映像・WEBにより全国に発信し、特に過疎地域の地域づくり、ソーシャルな仕事、新たな働き方を志向する都市部の若年層や先進的な企業に訴求しようとするものです。										
事業費(千円)	R2予算額	R3予算額	R4予算額	R5予算額	R6予算額	R2決算額	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6決算額	
	6,413	8,500	12,224	9,431	9,811	6,413	8,499	12,233	9,431	9,811	
KPI (重要業績評価指標)	指標内容			R1現状値	R2目標値	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	最終目標	
					R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	最終実績	
	普代村の地域課題解決に資する仕事モデル数(モデル数)			0	2	4	4	3	3	16	
					4	3	4	3	3	17	
	仕事モデルに従事する移住者数(人)			0	0	4	7	4	4	19	
				2	5	3	4	4	18		

## 2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	令和6年度は委託先である株式会社アースカラーと移住者誘致と仕事づくりの分野において連携し、「ガストロノミー料理人」、「狩猟者」、「羊&ナリワイ」の3つの仕事モデルの企画・制作を行いました。 また、「林業プロジェクト人材」1名、「水産業振興人材」1名、「森のようちえん人材」1名、「地域振興人材」1名の計4名の移住者誘致のほか、移住者の伴走支援、コワーキングオフィス(BLUE BASE FUDAI)の振興及び留村プログラムの運営を行いました。			
主な事務の内容	事務	詳細内容	R6 予算額 (交付金額)	R6 決算額 (交付金額)
	多様なワークスタイルの実現による移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業業務委託 委託期間：R6.4.1~R7.2.28 委託先：(株)アースカラー	◇しごとモデル構築及び募集・採用業務 ・モデル企画・制作(3本) ◇仕事モデル深掘り伴走支援業務 ・実践者伴走支援(9名) ◇関係人口創出「留村プログラム」&「コワーキングオフィスBBF」振興業務 ・コワーキングオフィス管理(通年) ・改善企画(ADDRESS社と関係構築等) ・留村プログラムの運営(留村2回)	9,811,000 (4,905,000)	9,810,680 (4,904,861)

### 3. 取り組みの検証／内部評価（Check1）

<p>KPI (重要業績評価指標)の達成 状況に関する分析</p>	<p>・設定した2つのKPIの令和6年度末における進捗状況は次のとおりです。          ①普代村の地域課題解決に資する仕事モデル数 ⇒ 進捗率106.3% (17/16モデル)          ②仕事モデルに従事する移住者数 ⇒ 進捗率94.7% (18/19人)          ・令和6年度は「普代村の地域課題解決に資する仕事モデル数」として累計で17の仕事モデルを企画・制作（青の国ふだいサービスデザイナー、和村邸人材、森のようちえん人材、くろさき荘魅力化人材、農業プロジェクト人材、林業プロジェクト人材、サードプレイス人材、水産業振興人材、空き家利活用人材、DX推進人材、萩牛集落支援&amp;鉄山染め人材、小中学校魅力化人材、ホースセラピー人材、GX推進人材、ガストロノミー料理人、狩猟者、羊&amp;ナリワイ人材）し、累計で18名の仕事モデルに従事する移住者の誘致につながりました。移住者数の最終目標値にはわずかに届かなかったものの、仕事モデルについては目標値を上回る数を制作することができました。</p>		
<p>取り組みの課題</p>	<p>・地域おこし協力隊の活動内容や成果に係る住民理解の醸成は引き続き課題となっています。          ・ミスマッチによる地域おこし協力隊員の早期離職を防ぐとともに、任期終了後の自立及び地域への定着を見据えた支援体制の構築が今後の課題となっています。</p>		
<p>内部評価結果</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)	<input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 抜本的な見直し
<p>今後の取り組み</p>	<p>・移住コーディネーターとも連携しながら、広報やSNS等での情報発信の強化や隊員の地域活動への参画等により、住民理解の醸成を図って行きます。          ・仕事モデルとして構築した地域課題解決に資する人材の誘致を引き続き進めながら、移住希望者の円滑な受入と定着を図るため、令和7年度から「地域おこし協力隊インターン制度」を導入し、移住後のミスマッチ解消に向けて取り組んでいきます。          ・行政と地域おこし協力隊員が定期的に集まる機会を設け、活動状況の把握や課題の早期発見につなげるとともに、隊員同士の交流促進による孤独感の軽減や活動意欲の向上を図り、隊員の地域への定住・定着を目指して行きます。</p>		

### 4. 取り組みの検証／外部評価（Check2）

<p>KPIに対する 事業の効果</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有効であった <input type="checkbox"/> 有効とはいえない
<p>内部評価に 対する評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当ではない →
<p>外部委員会(総合発展 計画審議会)からの意見</p>	

### 5. 取り組みの改善（Action）

<p>外部委員会(総合発展 計画審議会)からの意見 を踏まえた取り組み</p>	<p>・仕事モデルとして構築した地域課題解決に資する人材の誘致を引き続き進めながら、移住希望者の円滑な受入と定着を図るため、「地域おこし協力隊インターン制度」を運用し、移住希望者の不安解消と、移住後の円滑な協力隊活動につなげるよう取り組んでいきます。          ・移住後も行政と地域おこし協力隊員が定期的に集まる機会を設け、活動状況の把握や課題の早期発見につなげるとともに、隊員同士の交流促進による孤独感の軽減や活動意欲の向上に努めます。</p>
---	---